

# 日本臨床腫瘍薬学会学術大会2024 市民公開講座

## がんとともに 生きられる社会へと 願いをこめて

参加  
無料

われわれ医療者は“がん”を  
次の世代にどう伝えていけばよいのか？  
薬剤師はどうあるべきか？  
を考えよう

がん医療に興味を持つが  
ん患者さん・ご家族・市  
民の皆さんどなたでもご  
参加頂けます。

### プログラム

1  
医師の立場で  
実施している  
がん教育について

講師 **黒崎 亮** 先生  
(埼玉医科大学国際医療センター  
婦人科腫瘍科 医師)



2  
薬剤師の立場で  
実施している  
がん教育について

講師 **沼田 千賀子** 先生  
(神戸薬科大学 薬剤師)



3  
乳がん治療を経験  
したことから感じた  
がん教育への想い

特別  
講師 **矢方 美紀** さん  
(声優・タレント)



4  
ディスカッション

三浦 聡至 先生 (埼玉医科大学国際医療センター薬剤部)  
立澤 明 先生 (アポクリート株式会社)  
佐野 元彦 先生 (星薬科大学)

司会 **松田 礼那** (MC企画所属 フリーアナウンサー)



日時 2024年**3月2日** **土** 15:00~17:00  
開催形式 **現地開催+ライブ配信**  
会場 **神戸国際展示場**

### 参加申込方法

#### 会場参加

申込方法：事前申し込みは不要です。直接会場へお越しください。  
受付場所：神戸国際展示場 第1会場(2号館1Fコンベンションホール北)入口  
受付時間：2024年3月2日(土) 14:45~

#### WEB参加

申込方法：学会ホームページよりオンライン申込をお願いいたします。  
申込締切：2024年3月1日(金) 正午  
オンライン申込はこちら(<https://convention.jtbcom.co.jp/jaspo2024/citizen/>)



# がんとともに 生きられる社会へと 願いをこめて

市民公開講座

われわれ医療者は“がん”を次の世代にどう伝えていけばよいのか？  
薬剤師はどうあるべきか？ を考えよう



## 黒崎 亮 先生 (埼玉医科大学国際医療センター 婦人科腫瘍科 医師)

埼玉医科大学国際医療センター 婦人科腫瘍科 准教授  
埼玉医科大学医学教育センター 教育主任部門 日高ランチ 副ランチ長  
学歴 1996(平成8)年3月東北大学教育学部卒業  
2004(平成16)年3月岡山大学医学部卒業  
2015(平成27)年3月埼玉医科大学大学院医学研究科卒業  
職歴 2004(平成16)年5月三豊総合病院初期研修医  
2006(平成18)年4月聖隷浜松病院産婦人科医員  
2010(平成22)年4月埼玉医科大学国際医療センター婦人科腫瘍科助教  
2017(平成29)年4月厚生労働省健康局健康課予防接種室室長補佐  
2019(平成31)年4月埼玉医科大学国際医療センター婦人科腫瘍科講師  
2022(令和4)年8月埼玉医科大学国際医療センター婦人科腫瘍科准教授



## 沼田 千賀子 先生 (神戸薬科大学 薬剤師)

1984年 福岡大学薬学部薬学科卒業  
1984年 医療法人光陽会 周船寺病院薬剤科 勤務  
1993年 特定医療法人誠仁会 協和病院 薬剤科勤務  
2010年 神戸薬科大学 薬学臨床教育センター 教授  
2023年 神戸薬科大学 医薬品評価学研究室 教授

大学教育では、がん薬物療法認定薬剤師として緩和医療に携わった経験より、患者背景に配慮しながら個別に対応できる思いやりとやさしさを兼ね備えた人材育成に努めている。また「がん哲学学校 メディカル・カフェ」を開催し、がん患者の心理的な支援も行っている。



## 矢方 美紀 さん (声優・タレント)

1992年6月29日 大分県生まれ  
7年半所属したSKE48ではチームSのリーダーを務めた。  
2018年4月、25歳の時にステージ2Bの乳がんにより、左乳房全摘出・リンパ節切除の手術を受ける。  
「自身の体を知る」ことの重要性を伝えるとともに、がんになっても夢を諦めない、前向きに生きている姿を発信している。現在は、テレビやラジオ出演・ナレーション・MC・講演会などの活動に加え、子どもの頃からの夢であった声優としての活動に力をいれ活動中。

**JASPO**  
について

JASPO(日本臨床腫瘍薬学会)は病院、薬局、大学、製薬企業に所属する薬剤師やがん関連領域に関わるすべての人々が連携協力し合うとともに、がん薬物療法に関する学術研究の進歩や科学的根拠のあるがん薬物療法の開発・普及により、最善の治療効果の実現、副作用の軽減、重篤な健康被害の未然防止を図り、がん医療の発展や公衆衛生の向上に寄与することを目的とした学会です。現在約5,000人の薬剤師の学会会員が、薬物治療を通して我が国のがん医療を支持・牽引すべく日々研鑽を深めております。この度、2024年3月2日(土)・3日(日)の2日間、日本臨床腫瘍薬学会学術大会 2024を開催する運びとなりました。大会テーマは「バタフライ・エフェクト～小さな羽ばたきから臨床腫瘍薬学の発展へ～」です。がん医療に携わる様々な職種が患者の生活を考え、いかに寄り添い支えていくことが出来るのかなど、活発な議論が幅広く行われます。